

第3回「ぬまトーク」

日時 2025年（令和7年）9月4日
18時30分～
場所 道の駅アリストぬまくま レストラン

1 開会

2 前回の振り返り

3 グループワーク「アイデアをより具体化する」

- (1) 分類分け
- (2) 連携先・具体化の記入
- (3) アイデアの追加
- (4) 全体発表

4 連絡事項

- (1) 次回について
- (2) 今回出たアイデアについての意見投票

Step
1

①アイデアを分類分けする（カテゴリーと時期）

【時期】

×完成

○着手できる

②連携先・具体化を考えて記入

- ・連携先が入っていないもの ⇒ 考えて記入
- ・もう少し具体化が必要なもの ⇒ 連携が2～3団体でできるように考えて記入

Step
2

③十分アイデアが出ていないカテゴリーについて

追加アイデアを考える

連携先も埋めて、Step1で作業したものに入れ込めるようにする

④分類アイデアについて、優先順位をつけて最大5個選ぶ

【基準】・自分（達）がやる前提（自分軸）

- ・はじめの一步がすぐできるものを中心に選ぶ
- ・どれを本当にやった方が良いのか
- ・どういうニーズ（必要性）からやるのか

Step
3

⑤全体発表

④で選んだアイデアについて、理由を添えて発表

例：○○○だから、「○○○というアイデア」が必要です 等

発表時、アイデアに対しての連携候補者に「つながりカード」を配付する

⑥意見投票

参加者・傍聴者含めて、アイデアに意見投票を実施

こういうことができれば良いなという「**取組のアイデア**」

実現や動き出しのために

関係者・団体



関係者・団体（複数可）

が連携して新たな動きができれば良いな

こういうことができれば良いという「**取組のアイデア**」

実現や動き出しのために

関係者・団体



関係者・団体（複数可）

が連携して新たな動きができれば良いな

カテゴリー （第1回目で出た理想・困りごと）		期間			
		短期的(すぐできる) 1・2年程度(～2027年)	中期的 5年程度(～2030年)	長期的 10年程度(～2035年)	その他
住む 困りごと	つながりが欲しい				
	集える(交流の)場がない・接点不足				
	地域・企業等の連携				
	多文化共生				
	沼隈と内海は別で考えられない				
	担い手不足				
	後継者不足				
	若い人が少ない・集まらない				
	住む場所が少ない 交通アクセスが悪い				
	移住等で居住する場所が少ない				
	バスの便数が少ない、車が必要になる				
学び	学びの機会				
	地域について(出て)学ぶ				
	こどもが活躍できる場の創出				
魅力	コンテンツ				
	魅力的なもの点在(バラバラ)				
	活動する場がない				
	来たくなるコンテンツ不足				
	情報発信				
	まちの魅力を発信できていない				
	地域の魅力を発信できていない				
	継続した情報発信が難しい				
その他					



第2回

ぬまトーク

2025.8.4



新たに取組のアイデアを考える

Aグループ：文化・観光・スポーツ・運動

海上交通 / しまなみ
広域観光へ



・プロジェクト
マッピング

・神楽
etc

山道を 能登原
登山ルートに



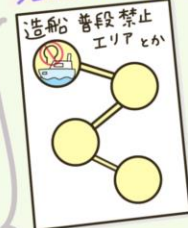
野球で活性化

小中学生向け
地域野球教室



石更式野球部
&
ブルーパレーツ
連携

沼隈版 スタンパラリー



チェックポイント
ランニング

沼隈
キラリ人

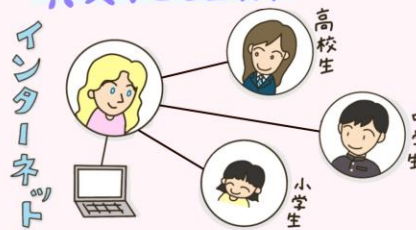


Bグループ：観光・土産・福祉

土産開発



異文化理解



周遊バス



MAPづくり



避難所体験



安じ・安全な
まちづくり

Cグループ：働く・暮らす・学ぶ・楽しむ → 関わる

道の駅大学



イベント
地域
交流スペース



マイクロツーリズム



福山から
沼隈へ

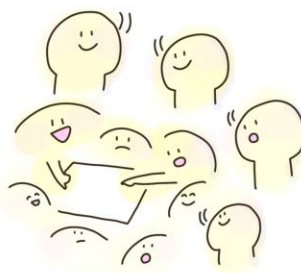
オススメ
本の紹介



情報発信

新道の駅

地域魅力発信



Dグループ：歴史・文化・三世代

地域文化を

平家谷は...



多世代リレー大会 新しい観光コース



地元
名物人
トレーディング
カード



沼南文化祭

